

森の川自然散歩

2017年11月号

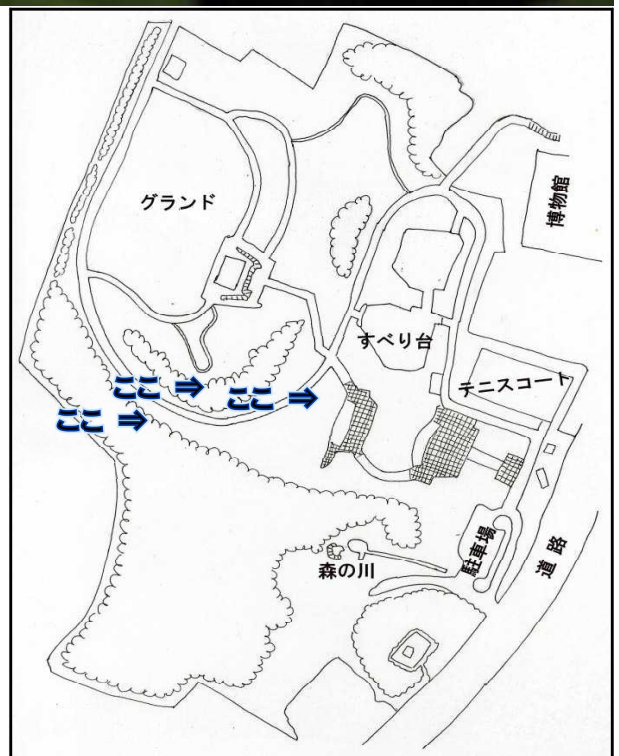


森川の虫たちが、冬支度をはじめたよ

上：枝にとまり、産卵の準備をするハラビロカマキリのメス。
左下：サクラの枝に産み付けられたハラビロカマキリの卵塊。

ハラビロカマキリ（メモ）▶▶▶

- 全身が緑色で、全長は50～70mmの大型のカマキリです。
- 前翅の表面に一对の白い斑紋が特徴です。
- 幼虫の体の色も緑色をしていて、腹部を極端に上に曲げています。
- 森川公園では、森の川周辺の林や、モクマオウの並木で見ることができます。
- 夏に産みつけられた卵は、10月と4月にふ化します。冬場になるとサクラの並木で、ふ化した卵の袋や、ふ化前の卵が見つかります。
- 10月にふ化した小さなカマキリは、葉の間などで冬を越し、翌年の4月から5月に成虫となります。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

(8) 石の上にも?年.. ホウビカンジュ

サクラ並木を上の方場に上がっていくと、右手の大きな石灰岩について垂れ下がっているシダが見つかります。ホウビカンジュです。このシダはたいていの場合、こんな岩の上で見られます。

なんで、ホウビカンジュは岩の上が好きなんだろう。他の植物が生えないから?、石灰岩が好きだから?。きっと、それなりの理由があると思うんだけど、君はどう思う。散歩がてら、少し立ち止まって、ホウビカンジュの気持ちになって考えてみるのもいいのかも。



森川公園11月の花ごよみ

誰かに似ている?コバテイシの実

- 森川公園で比較的目につく植物のひとつがコバテイシで、モモタマナとも呼ばれています。
- 秋から冬にかけて、大きな葉っぱの中に緑色の実がついています。大きさは40～50mmと、少し大きめなのですぐ見つけられます。
- 実の中央には、よく目立つひだがあります。
- ひだを真ん中にして、正面からじっと見てみると、誰かの顔が想像できませんか?。
- 想像つかないというヒトは、サインペンを出して、ひだの左右に斜めのだ円を書いて見ましよう。ほら、分かったでしょう。

(※答えはウルトラマンでした。)



左：ひだを中央に正面から見た。 右：サインペンで斜めのだ円を書いた。

博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう!

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

